

「市長記者会見」の概要

■日時 令和3年9月27日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、読売新聞、長野市民新聞、長野放送

■質疑応答

【「千曲市更埴文化会館」のネーミングライツ・パートナーの募集について】

問 命名権料収入の用途は。

回答 ことぶきアリーナ千曲と同様に、更埴文化会館の施設運営費に充てることを考えている。

問 既に導入されている「ことぶきアリーナ千曲」での効果は。

回答 ことぶきアリーナ千曲については、若い人を中心に略して「ことアリ」の名称で親しまれるなど、市民の間で定着してきていると感じている。

問 千曲市余熱利用施設の応募状況は。

回答 応募があり、現在は選定を行っている状況。決まり次第報告させていただく。

【日本遺産「月の都 千曲」 JAXA 宇宙飛行士特別講演会の開催について】

問 聴講は無料とのことだが、人数制限はあるのか。

回答 オンライン聴講のため定員は設けていない。

【「安心して楽しむ」お店の環境づくりを支援します】

問 対象となるお店と予算規模は。

回答 「信州の安心なお店」については、千曲市にある事業所で約150店舗が認証を受けている状況。対象店舗数は現在の倍の300店舗を想定している。

支援額の上限額や補助率については、近隣市町村の実例等も参考に設定する予定。

問 千曲市独自の取組みか。

回答 そのとおり。

【飲食料品等卸売業などの事業者を支援します】

問 飲食料品等卸売業などの事業者を支援するねらいは。

回答 新型コロナウイルス特別警報Ⅱが発出された際に、飲食店等の時短要請を行ったことから、飲食店等に関連する取引先（卸売業者等）への直接的な支援も必要であると判断し、支援を行うもの。

問 千曲市独自の取組みか。

回答 そのとおり。

【市政全般について】

問 場外車券売場が9月30日に開業となるが、事業者に望むことは。

回答 これまでの地元説明会や反対・賛成などの市民からの様々な意見等を踏まえ、市としては交通安全対策や防犯対策などの周辺環境整備について申入れを行う予定であり、市と事業者間で環境整備に関する協定を締結したいと考えている。具体的な環境整備の内容については、オープン後に地域の要望等を勘案し検討したい。

問 反対している市民に対し、市としての対応や事業者に向き合ってほしい旨の要請を行う予定はあるか。

回答 反対者に市が直接説明するものではないことから、市が何か行うということは考えていないが、反対者・賛成者ともに地域の防犯や交通安全等を一番心配されていることから、地元の理解を得られるよう市として事業者に対し申入れをしていきたい。

問 協定については、これまでも事業者との話し合いは行ってきたということで良いか。また、協定の内容については、オープン後ということだが、実際に動き出してからの状況を見ながら地元からの反応や要望を踏まえ決定するということか。

回答 協定については、一般的な環境整備に関する協定を締結する予定。そのうえで今後の状況や地元の要望を踏まえ、具体的な整備等の内容は改めて検討する。現在事業者と詰めている状況。

問 協定締結の時期は。

回答 予定とすれば、9月30日のオープンに合わせ同日に施設管理者である東京都十一市競輪事業組合と協定を締結したいと考えている。

問 協定の調印式は行うのか。

回答 今のところ決まっていない。

問 協定の目的は。

回答 協定締結による地元の方への安心感の醸成に加え、環境に関する要望が多かったことから、交通安全対策や防犯対策等の整備に関する協定を締結するもの。

問 場外車券売場ができることに対する率直な受け止めは。

回答 長野県初の公営競技関連の施設であり、様々な意見があることは承知している。事業者には市民の皆様が不安に感じていることに対し、その解消に向けた取り組みを行っていただきたい。正式な手続きを経て経済産業省が許可した施設であることから、市として何か行う権限はないが、オープンする以上は地元の方の理解を得られるよう、市としても不安を解消するよう努めたい。

問 安全や防犯に対する不安を抱いている市民が多いことから、そのことについて市としては、どのようなことを考えているか。

回答 環境整備の協定の中で、地元の生の声を聞きながら効果的な施策等を考えていきたい。例えば暗くて危険ということであれば、防犯灯の設置なども必要となる。繰り返しになるが、地元の方が何を感じ、何が必要なのかを聞く中で具体的な環境整備については検討したい。

問 場外車券売場ができることに対する期待と懸念は。

回答 地域と共存共栄しながら良好な関係を築いていただくことを期待している。市としても市民が安心できる環境づくりを進めたい。

問 場外車券売場ができることに対する市のメリットは。

回答 市が誘致を行ったものではないが、事業所ができることによる税収増や協定等も締結するが、これまで空き店舗であったことから、交通安全や防犯の面で住環境が良くなることを期待している。

問 千曲市まちづくりアカデミーアドバイザーの現在の状況は。

回答 アドバイザーについては、現在、観光分野において、山田桂一郎氏（観光振興や地域振興が専門）をお願いし内諾をいただいている状況。山田氏はスイスツェルマット観光局に勤務され、観光庁等の観光カリスマにも選ばれている方。
今後委嘱を行う予定。

問 小川市長が就任してから何人目か。

回答 就任以前からお願いしている熊谷氏のほかに、若狭氏、中島氏、今回委嘱予定の山田氏の3名。他分野で、あと1～2名お願いしたいと考えている。

問 アドバイザーの若狭氏について、議会側が特別委員会を設置して引き続き詳細の説明を聞きたいとの声があったが、市長としては理解を得られたとの認識か。

回答 本件については、議会全員協議会で説明を行った。また、議会本会議の場でも緊急質問がなされたことから、お答えをさせていただいた。理解をいただけたかどうかはわからないが、私としては誠意をもって説明させていただいた。

議会の議決を要するものではなく、人事に関する案件でもあることから、本会議において、個人のプライベートの情報なども含め、質問されたことは遺憾である。（全員協議会で質問いただければ良かったのではないか）

問 しっかり説明をしてほしいとの意見がある中で、市長の認識として、本会議の場と全員協議会の場での答弁の違いは。

回答 議会本会議での緊急質問は災害など、市にとって重大な案件について緊急に質問しなければならないものについて行われるべきと私は思っており、その点については議会との認識の違いがあったのではないかと考えている。また、答弁の違いは、個人の経歴や実績、プライベートに関わる質問もされたことから、本会議という公開の場ではなく、全員協議会（非公開）の場で質問すべき案件であると私は認識している。

問 若狭氏をアドバイザーとして委嘱しているが、取り消す意向はあるか。

回答 本会議でも答弁したが、政策的な判断から千曲市まちづくりアカデミーのメンバーの一人としてお願いしたものであり、撤回するつもりはない。

問 高校再編（屋代南高校）の関係で、県教育委員会へ要望されたが、キャンパスとして残すというねらいは。

回答 屋代南高校を発展させる会での議論の中では、旧第4通学区地域協議会で出された結論を大切にしながら屋代南高校の在り方を考えるという大前提があり、協議会では総合技術高校を設置してほしいとの答えが出されたことから、それに沿った形で、尚且つ屋代南高校を存続させるために議論をし、その中で複数のキャンパス（ツインスクール）として、それぞれの学校の特色を生かした職業科を設置するという事となった。

問 校名が消えてしまうことに対する考えは。

回答 同窓会長さんとも十分話し合いを行い同窓会でも理解はいただいている。理想とすれば屋代南高校の校名が残ることが望ましいが、高校再編は不可欠であることから校名に拘ることよりも、現在の場所に高校を残したいという意見で一致し、今回の要望に繋がったもの。

問 県教育委員会側の反応と手応えは。

回答 県教育委員会の受け止めはわからないが、旧第4通学区地域協議会の意向に沿った提案・要望であることから、ご理解をいただきたいと思っている。

終了 午後2時10分